

2020年10月24日(土) どんぐり教室

【学習会の内容】

暮らしと自然の関係を学びながら、どんぐりの苗木づくりを行いました。また、どんぐりを採集し、それに独自のデザインを与えて小物づくりを行うことで、自然の恵みを感じると共に、ものを大切にすることを学びました。

※この学習会は、江南団地自治会様とUR都市機構様のご協力の下、行いました。

【学習会の様子】



エスベックミック株式会社の吉野先生の、「江南市内で一番多くある木はなんだと思う？」という質問から始まりました。

どんぐりの種類は20種類ほどあり、10月に江南団地内で拾うことができるのは、アベマキ・クヌギで、その見分け方の方法を学びました。

団地の森には多くのどんぐりの木が生えており、緑あふれるとても貴重な場所です。その豊かな自然環境を守るため、苗木の作り方など、森づくりについての説明を受けました。



外に出て、みんなでどんぐり拾いです。拾ったどんぐりは、団地内にあるコンポストの土を使用してつくった種植え場所にみんなで植えました。「どんぐりは横にして植えます。一つのサークルに100個は植えてください。」と、吉野先生よりお話があり、一生懸命、数を数えながら植える姿が印象的でした。

「2~3年後には、みんなの腰のあたりまでの高さに成長します。その苗木を、今度は植樹をしていくことになります。今日、種植えをして終わりではなく、今後も成長を見守っていただけたらと思います。」と、吉野先生から参加者へメッセージを送りました。

その後、土が乾いてしまわないようにワラをしき、ワラが飛ばないように縄で固定しました。



拾ったどんぐりに色付けて様々な作品を作りました。

「どんぐりが小さくて難しい」と、みなさん言われていましたが、個性豊かな作品が完成しました。



また、江南団地で活動されている、どんぐり文庫の皆様が『ドングリゴマ』を用意してくださいました。

どんぐりによって回転が違ってきますので、どんぐりをまわして、回転のいいどんぐりを選びました。



環境課でも作品を展示しています。ある日、一つの作品にヒビが入っていました。よく見ると頭から、どんぐりの芽が！！先生によると、土がないのでこれ以上は成長しない可能性が高い、ということでしたが、自然の生命を感じる出来事でした。

